

# 平成 29 年度 事業報告

## 1. 古紙品質安定対策事業

### (1) 古紙品質調査事業

古紙品質の維持向上の基礎情報として活用するため、関東地区製紙メーカー(年間:段ボール 10 ベール・新聞 8 ベール・雑誌 20 ベール)、中部地区製紙メーカー(年間:段ボール 6 ベール・新聞 4 ベール・雑誌 8 ベール)、近畿地区製紙メーカー(年間:段ボール 12 ベール、新聞 1 ベール)において、メーカー購入古紙の開梱組成調査を実施し、紙リサイクルの関係者に情報提供した。

段ボール、新聞、回収雑誌の開梱組成調査の結果は以下のとおりである。

#### 【段ボール】

	段ボール	その他紙	禁忌品
平成 29 年度	96.1 %	2.8 %	1.1 %
平成 25 年度～29 年度	96.2 %	3.0 %	0.8 %

#### 【新 聞】

	新 聞	チラシ	その他紙	禁忌品
平成 29 年度	60.6 %	36.5 %	2.7 %	0.2 %
平成 25 年度～29 年度	61.7 %	35.6 %	2.4 %	0.3 %

#### 【雑 誌】

	雑 誌	その他紙	禁忌品
平成 29 年度	58.0 %	41.6 %	0.3 %
平成 25 年度～29 年度	64.1 %	35.3 %	0.6 %

### (2) 古紙品質情報ネットワークの運用

関東地区委員会所属製紙メーカーからの古紙品質情報(トラブル)報告では、臭いのついた紙は前年度に引き続き 0 件、昇華転写紙 32 件から 12 件、ロウ引き段ボール 21 件から 4 件にそれぞれ大幅に減少した。感熱性発泡紙は 13 件から 11 件への微減となった。

古紙品質情報報告について、製紙メーカーに情報を提供して注意を喚起し、トラブルの未然防止に努めた。

### (3) 個別古紙品質対策

最近、パンフレットやカタログなどの商業印刷物にUVインキが使用されることが増加し、印刷工場、製本工場、光沢加工工場などから排出される古紙にUVインキ印刷物の損紙・裁落が混入し、その古紙が印刷用紙の原料となり印刷用紙の品質低下を招くケースが増加してきている。このため、紙リサイクル推進のためにUVインキ印刷物の損紙・裁落を分別し排出を促すリーフレットを作成し、一般社団法人日本印刷産業連合会、製紙・古紙業界関係者を通して、印刷会社、製本会社、光沢加工会社などに配付し、UVインキ印刷物の損紙・裁落の古紙への混入防止について啓発を行った。

平成 32 年度古紙利用率目標 65%達成に向け、良質古紙確保と古紙回収増を図るため、地方自治体などに対して当センター基準の「雑がみ」を周知できるように分かりやすいリーフレットを作成し、製紙・古紙業界関係者、地方自治体に配付し、「雑がみ」の品質確保などの啓発を行った。

## 2. 広 報 事 業

### (1) 紙リサイクル啓発事業

消費者、児童・生徒、事業者、行政機関に対して、紙リサイクルの現状と課題等の情報提供等を通じて紙リサイクルの啓発を行った。さらに、未利用古紙掘り起し・品質確保等の啓発に着手した。具体的には次の個別事業を展開した。

#### ① 紙リサイクル意見交換会

地方自治体との連携強化を目的に、古紙回収の現状及び課題等に関する意見交換及び製紙工場見学を埼玉県内の3地域で下表のとおり実施した。

開催日	地方自治体	業界関係者	工場見学
H29年 10月 17日	(埼玉県清掃行政研究協議会 第2ブロック) 埼玉県、桶川市、加須市、 上尾市、鴻巣市、幸手市、 白岡市、蓮田市、宮代町、 久喜宮代衛生組合	王子エコマテリアル 株式会社、株式会社 ブシュー、北海紙管 株式会社、 関東製紙原料直納 商工組合	王子マテリア株式 会社 日光工場
H29年 10月 24日	(埼玉県清掃行政研究協議会 第4ブロック) 埼玉県、朝霞市、川越市、 志木市、所沢市、坂戸市、 富士見市、ふじみ野市、 新座市、和光市、越生町、 鳩山町、志木地区衛生組合	日本製紙株式会社、 株式会社今井、むさ し野紙業株式会社、 関東製紙原料直納 商工組合	日本製紙株式会 社 関東工場足 利
H29年 11月 27日	(埼玉県清掃行政研究協議会 第1ブロック) 埼玉県、春日部市、川口市、 越谷市、さいたま市、草加市、 戸田市、三郷市、吉川市、 蕨市、松伏町、 東埼玉資源環境組合、 蕨戸田衛生センター組合	王子エコマテリアル 株式会社、株式会社 大久保、株式会社富 澤、 関東製紙原料直納 商工組合	王子マテリア株式 会社 江戸川工 場

#### ② 紙リサイクル出前授業

小学生高学年を対象に紙リサイクルへの理解を深め、紙リサイクル体制の維持・発展に資するため、センターで作成した紙リサイクル教材を活用し、全国各地で下表のとおり実施した。実施校数は45校となり、昨年度より4校増加した。その他に当センター会員である全国製紙原料商工組合連合会傘下の組合員が出前授業を実施している。

また、より授業を行いやすくすることを目的に、児童用テキスト「楽しく学ぼう紙のリサイクル」の改訂版(紙テキストと電子版(パワーポイント化)テキスト)と「授業の進め方の説明書」を作成した。

地 区	実施日	対象学校・学年	参加児童数
北海道	平成29年11月15日	札幌市立札幌小学校5年生	67名
東 北	平成29年9月6日	石巻市立須江小学校4年生	30名
	9月13日	南相馬市立太田小学校4年生	7名
	9月20日	南相馬市立大甕小学校4年生	21名

地 区	実施日	対象学校・学年	参加児童数
東 北	9 月 28 日	石巻市立大川小学校 4 年生 石巻市立二俣小学校 4 年生	17 名
	11 月 16 日	石巻市立石巻小学校 4 年生	50 名
関 東	平成 29 年 6 月 6 日	朝霞市立朝霞第四小学校 4 年生	120 名
	6 月 16 日	加茂市立加茂小学校 4 年生	42 名
	7 月 10 日	多摩市立大松台小学校 4 年生	100 名
静 岡	平成 29 年 7 月 5 日	富士市立吉永第一小学校 4 年生	53 名
	7 月 18 日	富士市立吉永第二小学校 4 年生	19 名
	7 月 20 日	富士市立元吉原小学校 4 年生	47 名
	10 月 4 日	富士市立田子浦小学校 4 年生	154 名
	10 月 13 日	富士市立神戸小学校 4 年生	32 名
	10 月 26 日	富士宮市立貴船小学校 5 年生	81 名
	11 月 14 日	富士市立東小学校 4 年生	11 名
	11 月 21 日	富士市立原田小学校 5 年生	56 名
中 部	平成 29 年 5 月 30 日	桑名市立桑部小学校 4 年生	39 名
	5 月 31 日	名古屋西味鋤小学校 4 年生	41 名
	6 月 8 日	名古屋市立広路小学校 4 年生	74 名
	6 月 9 日	名古屋市立呼続小学校 4 年生	62 名
	6 月 9 日	名古屋市立牧の原小学校 4 年生	40 名
	6 月 9 日	名古屋市立弥富小学校 4 年生	121 名
	6 月 13 日	名古屋市立廿軒家小学校 4 年生	60 名
	6 月 13 日	名古屋市立川原小学校 4 年生	57 名
	6 月 14 日	名古屋市立大野木小学校 4 年生	79 名
	6 月 15 日	名古屋市立道德小学校 4 年生	70 名
	6 月 19 日	名古屋市立旗屋小学校 4 年生	75 名
	6 月 19 日	名古屋市立瀬古小学校 4 年生	68 名
	6 月 21 日	名古屋市立港西小学校 4 年生	111 名
	6 月 28 日	名古屋市立城北小学校 4 年生	96 名
	6 月 29 日	名古屋市立自由ヶ丘小学校 4 年生	61 名
	7 月 12 日	名古屋市立内山小学校 4 年生	17 名
	7 月 14 日	名古屋市立小幡北小学校 4 年生	58 名
	9 月 12 日	名古屋市立相原小学校 4 年生	76 名
	10 月 11 日	名古屋市立大清水小学校 4 年生	177 名
	10 月 12 日	鈴鹿市立明生小学校 4 年生	51 名
10 月 25 日	名古屋市立平針南小学校 4 年生	59 名	
近 畿	平成 29 年 9 月 25 日	たつの市立揖保小学校 4 年生	34 名
中四国	平成 29 年 12 月 6 日	高松市立高松第一小学校 6 年生 高松市立高松第一中学校 1 年生	35 名

地 区	実施日	対象学校・学年	参加児童数
九 州	平成 29 年 6 月 15 日	武雄市立橋小学校 4 年生	19 名
	8 月 29 日	江北町立江北小学校 4 年生	100 名
	10 月 26 日	武雄市立北方小学校 4 年生	67 名
実施校数・参加児童数 合 計		45 校	2,654 名

### ③ 地域広報活動

各地区委員会で紙リサイクル啓発活動を下表のとおり実施した。

地 区	開 催 日	開催地	行 事 名	内 容
北海道	平成 29 年 9 月 3 日	北海道 苫小牧市	リサイクルペーパーフェア	古紙の分別、禁忌品除去、古紙利用促進のPR、工作体験、啓発資料・ノベルティ配布等
東 北	平成 29 年 9 月 3 日	宮城県 仙台市	エコフェスタ 2017 出展	DVD上映、古紙の分別体験、紙すき体験、啓発資料・ノベルティ配布等
静 岡	平成 29 年 8 月 5 日	静岡県 富士市	静岡県工業技術研究所フェア参加	古紙分別回収・禁忌品混入防止の呼びかけ、雑がみ回収用袋・紙リサイクルノートの配布等
	平成 29 年 10 月 28 日 ～29 日	静岡県 富士市	富士山紙フェア出展	禁忌品説明パネル展示、古紙分別回収・禁忌品混入防止の呼びかけ、雑がみ回収用袋の配布等
中 部	平成 29 年 8 月 19 日 ～20 日	石川県 金沢市	いしかわ環境フェア 2017 出展	紙リサイクルに関するパネル展示、古紙利用製品の展示、紙ひもサンプル、ノベルティの配布等
	平成 29 年 9 月 16 日	愛知県 名古屋市	環境デーなごや 2017 出展	古紙分別のパネル展示、雑がみ・紙製容器包装に関するクイズ、アンケート用紙の配布等
	平成 29 年 10 月 1 日	長野県 長野市	ながの環境フェア出展	古紙回収・利用促進のPR、ノベルティの配布
	平成 29 年 11 月 6 日	山梨県 甲府市	甲府市リサイクルフェア出展	紙リサイクルに関するパネル展示、古紙分別に関するクイズの実施
	平成 30 年 1 月 20 日	愛知県 名古屋市	集団回収実施団体説明会	雑がみ分別回収促進のための説明
近 畿	平成 29 年 10 月 7 日	兵庫県 神戸市	グリーンフェスタこうべ 2017 出展	古紙分別・古紙利用促進のパネル展示、紙すき体験、啓発資料・雑がみ回収袋の配布等
九 州	平成 30 年 1 月 12 日 1 月 17 日 1 月 23 日 1 月 24 日 2 月 6 日	福岡県 北九州市	古紙リサイクルバスツアー	北九州市内の小学校 5 校の小学生高学年児童を対象に古紙の回収・流通・再生の現場の見学会、紙すき体験

### ④ 紙リサイクル研修会

家庭又は事業所から排出される紙のリサイクルを促進させるため、下表のとおり実施した。本年度は 13 件で昨年度より 3 件増加した。

開催日	開催地	出席人数	対 象 者	申込団体等
平成 29 年 5 月 19 日 5 月 20 日	埼玉県 所沢市	101 名 107 名	集団資源回収実施団体代表者	所沢市環境クリーン部 資源循環推進課

開催日	開催地	出席人数	対象者	申込団体等
5月26日	神奈川県 川崎市	150名	事業系一般廃棄物排出事業者	川崎市環境局 減量推進課
8月2日	石川県 金沢市	30名	金沢エコ推進事業者ネットワーク会員(市内事業所)	金沢市環境政策課
9月5日	千葉県 千葉市	91名	千葉県内市町村、関係一部事務組合の一般廃棄物担当者	千葉県環境生活部 循環型社会推進課
10月21日	兵庫県 稲美町	60名	稲美町環境会議委員・環境委員・その他住民	稲美町生活環境課
11月5日	兵庫県 川西市	18名	一般住民	国崎クリーンセンター
11月9日	栃木県 那須塩原市	50名	廃棄物減量等推進員、市職員	那須塩原市生活環境部 環境対策課
11月22日	石川県 金沢市	16名	石川県再生資源事業協同組合、金沢市等	石川県再生資源事業協同組合
平成30年 1月18日	福岡県 北九州市	370名	市条例で定める事業用大規模建築物及び大量排出事業所	北九州市環境局循環社会推進部
1月26日	兵庫県 神戸市	522名	事業所の廃棄物管理責任者	神戸市環境局事業系 廃棄物対策部
2月6日	埼玉県 行田市	13名	埼玉県清掃行政研究協議会第3ブロック役員	埼玉県清掃行政研究協議会第3ブロック
2月9日	奈良県 奈良市	61名	減量計画書等提出建物占有者	奈良市環境部廃棄物 対策課
3月14日	東京都 昭島市	46名	廃棄物減量等推進員、資源回収奨励金登録団体、市民	昭島市環境コミュニケーションセンター

### ⑤ 紙リサイクルセミナー

古紙の回収・再生利用の促進を図るために次のとおり開催した。テーマ・内容について、これまで以上に時宜を得たものとしたため、参加者増につながり、紙リサイクルの啓発に貢献した。

日時：平成29年10月5日 13時30分～16時00分

会場：星陵会館 参加者数：279名

テーマ：1)「東南アジアの紙リサイクルについて-アジアの古紙需給の安定化を目指して-」

日本製紙連合会 常務理事 上河潔 氏

2)「米国及びEU諸国の資源回収システム」

有限会社グローバルプランニング 取締役 小笠原秀信 氏

3)「オフィス発生古紙の実態と紙媒体の機密文書処理」

公益財団法人古紙再生促進センター 業務部業務課主査 吉田和正

### ⑥ 啓発資料等の配付

#### ア 会報

センターの活動状況、海外の古紙に関する情報等を掲載した会報(年4回、1,000部/回)を会員、行政機関などに配付した。

#### イ 古紙ハンドブック

古紙に関する規格、統計、法令などを編纂し、「古紙ハンドブック2017」を作成した。

同ハンドブックは製紙・古紙業界の関係者、地方自治体に提供するとともに、ホームページにより広く一般にも提供した。

## ウ 啓発資料の配付

啓発資料について、地方自治体、関係団体などに下表のとおり提供又は貸出しを行った。新たに作成した「雑がみ」のリーフレットについて、地方自治体などへ積極的に提供した。啓発資料(チラシ、リーフレット)について、ホームページにより広く一般に提供した。

内 訳	件 数
チラシ、パンフレットの提供	145 件
DVDの提供	20 件
啓発用パネル(6枚組)の貸出し	5 件

## ⑦ 紙リサイクルコンテスト

全国の小中学生を対象に「紙リサイクル」をテーマにした作文とポスターの作品募集を行い、973点の応募があった。全国小中学校環境教育研究会をはじめとする教育関係者などで構成される審査会において、厳正なる審査を行い、金賞・特別金賞・銀賞・佳作の各賞を決定した。

金賞と特別金賞の受賞者を招き、表彰式を下記のとおり開催した。本年度、新たに日本製紙連合会に後援をいただいた。

日 時 : 平成 30 年 1 月 27 日(土) 12 時～14 時

会 場 : ホテルグランドパレス 3 階「松の間」

後 援 : 文部科学省、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国市町村教育委員会連合会、全国小中学校環境教育研究会、読売新聞社、全国製紙原料商工組合連合会、日本再生資源事業協同組合連合会、段ボールリサイクル協議会、日本製紙連合会

協 力 : 教育新聞社

入賞者:

### < 金 賞 >

部 門	学校名・学年	氏 名	作 品 名
作 文	小学生部門 東京都荒川区立 第三日暮里小学校 5 年	越村 惟叶	リサイクルは大切
	中学生部門 宮崎県立 宮崎西高等学校附属中学校 1 年	大仁田 健	リサイクルスペース
ポ ス タ ー	小学生 低学年部門 北海道札幌市立 山鼻小学校 3 年	大井 佑馬	「生まれ変わろう!紙」
	小学生 高学年部門 兵庫県 絵画教室 絵かきのたまご 4 年	斉藤 亜衣香	紙のリサイクル
	中学生部門 静岡県浜松市立 南部中学校 1 年	金城 カロリナ	よく見れば資源はいっぱい

### < 特別金賞 >

部 門	学校名・学年	氏 名	作 品 名
全国製紙原料商工組合 連合会 理事長賞	東京都 国語塾 KURU 6 年	山田 隼	紙でできた家 (作文)

部 門	学校名・学年	氏 名	作 品 名
日本再生資源事業協同 組合連合会 会長賞	岩手県立 一関第一高等学校附属中学校 2 年	小澤 美咲	江戸の知恵に学ぶ (作文)
段ボールリサイクル 協議会 会長賞	青森県八戸市立 小中野小学校 6 年	目時 聖那	く〜るくる！！地球のために リサイクル！！(ポスター)

< 銀 賞 >

部 門	学校名・学年	氏 名	作 品 名
作 文	小学生部門 香川県高松市立 栗林小学校 2 年	上之段 亜玖吏	みんなの力でがんばろう
	中学生部門 東京都江戸川区立 篠崎中学校 2 年	檀上 恋	これからの紙リサイクル
ポ ス タ ー	小学生 低学年部門 佐賀県有田町立 有田中部小学校 1 年	鷹巣 きよら	「かみリサイクルしてくれて ありがとう」へんしんできたよ
	小学生 高学年部門 山口県岩国市立 灘小学校 4 年	古賀 万結	リサイクルを心がけよう
	中学生部門 静岡県浜松市立 南部中学校 3 年	島田 愛	捨てずに活かす紙リサイクル

< 佳 作 >

部 門	学校名・学年	氏 名	作 品 名
作 文	小学生部門 福島県福島市立 福島第三小学校 6 年	遠藤 萌花	再生紙文房具自動販売機を 作ろう
		東京都 東京創価小学校 5 年	大泉 陽子
	中学生部門 京都府京都市立 伏見中学校 2 年	山田 創太	「紙リサイクル・ルールを 日本統一！！」
		広島県 銀河学院中学校 1 年	上川 楽々
ポ ス タ ー	小学生 低学年部門 鹿児島県霧島市立 陵南小学校 3 年	中川 香花	紙たちにかんしゃをこめて リサイクル
		徳島県阿波市立 一条小学校 1 年	西岡 成
	小学生 高学年部門 兵庫県 絵画教室 絵かきのたまご 4 年	津田 和花奈	紙は大切に
		兵庫県 絵画教室 絵かきのたまご 4 年	鳥前 晴海
	中学生部門 山口県岩国市立 灘中学校 2 年	松富 穂香	地球の命のために・・・
		山口県岩国市立 灘中学校 2 年	藤田 珠羽

### ⑨ 未利用古紙の掘り起こし・品質確保等の啓発

未利用古紙の掘り起こし・品質確保などについて、家庭、事業所、地方自治体、教育関係者へ啓発するため、情報発信力の強化とコンテンツの充実を図ることとし、ホームページの刷新に着手した。ホームページ新規公開については、平成 30 年度中に行うこととしている。

## (2) 紙リサイクル普及事業

次の個別事業を展開し、紙リサイクルの普及を行った。

### ① 顕彰制度（集団回収・回収団体）

#### ア 集団回収実施団体感謝状贈呈

各地区委員会から推薦のあった集団回収実施団体(72 団体)に贈呈した。昭和 62 年開始から累計で 799 団体となった。

推薦地区	団 体 名
北海道	阿寒町中央町内会婦人部、桔梗西部町会、自由ヶ丘町内会、東光 7 丁目中央町内会、発寒協栄町内会
東 北	常盤小学校スクールバンド部父母の会、新屋田尻沢町内会、高木団地自治会、山形市立滝山小学校父母と教師の会、桂 2 丁目子ども会、若宮子供会、みさかあおぞら一丁目子ども会、森合東部子ども会育成会
関 東	栃木市立合戦場小学校 P T A、清水子供育成会、川口市内障害者施設運営団体連絡会、小倉台小学校父母と教職員の会、寺谷小学校区小域福祉ネットワーク、平野一丁目団地自治会、渋谷氷川会、南親会、弥生ヶ丘自治会、都営富士見住宅自治会、青梅市藤橋自治会連合会、滝山団地自治会、長竹自治会（環境美化部）
新 潟	新潟市立小合中学校、阿賀町立三郷小学校、内野町一番町自治会、和納一区・二区自治会、桃山町町内会、長嶺長寿会、新興連絡協議会、尾山ニュータウン育成会、豊栄歩みの会、興人寺尾団地自治会、浜谷町自治会、サンシャイン青山自治会、京王自治会、小針橋町自治会、松海が丘第四自治会なかよし会、鳥越福祉会、新潟市旭水町内自治会
静 岡	掛川市立大須賀中学校 P T A、静岡市立安倍川中学校 P T A、富士市中島新道町子供会
中 部	春日井市立松原中学校 P T A、杉村学区連絡協議会、新地子供会、結区、上郷婦人会、甲州市立松里中学校、水橋中学校育友会、福井市立森田中学校 P T A
近 畿	東広田自治会、東佐山団地自治会
中・四国	川津パワフルズ、呉市立白岳小学校 P T A、東広島市立郷田小学校 P T A、中原子供会、新中野子ども会育成会、嶽町内会、松山市立荏原小学校、砥部町立砥部小学校
九 州	樺島町自治会、観音下老人会、吉井生活学校、神埼町四丁目自治会、青葉台子供会、大谷スポーツ少年団、南面里区環境委員、野中キッズ子供会

#### イ 集団回収特別活動賞表彰

紙リサイクルの推進に貢献するとともに集団回収の目的・内容意義が素晴らしい活動を行った新潟県阿賀町立三郷小学校に対して集団回収特別活動賞を贈呈することとし、平成 30 年 1 月 27 日(土)に表彰式を開催した。



## ② グリーンマーク

平成 29 年度の申請に関しては下表のとおり承認した。

【表示承認】	平成 29 年度	累 計
事業者数	8 事業者 (新規承認事業者 1 件)	177 事業者
件数	10 件	658 件

【表示内容変更】	平成 29 年度
事業者数	5 事業者
件数	5 件

## 3. 調査研究事業

### (1) 国内資源化調査

#### ① 雑誌・雑がみ・オフィス古紙調査

未利用古紙の一つである機密文書の管理及び排出実態を把握するため、全国の 6,343 事業所にアンケートを実施し、文書管理から機密文書の処理、シュレッダー処理した後の紙片の排出等について報告書に取りまとめた。

紙リサイクルセミナーにおいて調査結果を報告した。報告書について、製紙・古紙業界関係者、地方自治体に配付するとともに、ホームページにより広く一般に提供した。

#### ② 地方自治体古紙関連施策調査

地方自治体の紙リサイクル施策に関するアンケート調査を 1,741 地方自治体に行うとともに、「古紙回収量が多い」、「リサイクル率が高い」又は「他であり見られない取組み」を行っている 6 地方自治体にヒアリング調査を実施した。アンケート及びヒアリング内容を報告書に取りまとめ、製紙・古紙業界関係者、地方自治体に配付するとともに、ホームページにより広く一般に提供した。

#### ③ リサイクル対応型紙製商品の開発促進対策調査

ドライトナー印刷物のリサイクル適性評価標準試験法(平成 26 年日本印刷産業連合会制定)に基づくサンプル評価試験の結果に夾雑物面積のバラツキが見られるので、リサイクル対応型紙製商品研究委員会デジタル WG を開催し標準試験法について見直した。

夾雑物面積のバラツキについては、フローテーター処理時のフロスカき取りの不均一さに起因しているものと想定され、新たにフロスカき取り治具を試作し、サンプル評価試験を実施した。平成 30 年度において、サンプル評価試験の結果を分析し、必要に応じて同標準試験方法の改正案を提示する。

#### ④ 未利用古紙の回収利用ネットワーク(システム)構築に関する調査研究(オフィス古紙回収モデル事業)

少量排出事業所を対象に可燃ごみとして排出されている未利用オフィス古紙を掘り起こし、製紙原料として利用するモデルの構築を目的として、全国製紙原料商工組合連合会新潟ブロックと連携し、平成 30 年度に新潟県内での事業実施に向け複数カ所で準備を進めた結果、平成 30 年 4 月から、新津商工会議所の協力を得て、新潟市秋葉区にてオフィス古紙回収モデル事業を開始することとなった。

## ⑤ 国・地方自治体等の紙リサイクル推進の協力

- ア 経済産業省「アジア紙リサイクル構築支援事業」
- イ ISO/TC130WG11「ISO 印刷技術」国内委員会脱墨分科会
- ウ 紙製容器包装リサイクル推進協議会技術委員会

## (2) 海外市場調査

### ① 中国市場調査

平成 29 年 11 月 1 日(水)～4 日(金)に中国を訪問し、第 2 回 中国回収紙行業大会(第 6 回日中古紙セミナー含む)に出席した。

また、中国再生資源回収利用協会、中国造紙協会等との意見交換を行うとともに河北省保定市の製紙会社 2 社を訪問し、工場見学・意見交換を行った。

- ・ 11 月 1 日(水)中国再生資源回収利用協会等と、中国政府が新たに環境保護政策強化に向けて打ち出した低品質古紙の輸入禁止、輸入古紙の品質基準強化に関し、意見交換・情報交換を行った。
- ・ 11 月 2 日(木)第 2 回 中国回収紙行業大会に出席。  
中国側の要望により第 6 回 日中古紙セミナーとして「日本の紙リサイクル構築に関する需給両業界の協力体制ー公益財団法人古紙再生促進センターの設立と活動ー」のタイトルで、日本の古紙の回収・利用状況、日本の紙リサイクルの特徴、当センターの設立・目的、事業、課題などを講演した。  
特に、課題としては、(1)更なる紙リサイクルの推進、(2)古紙品質の維持・向上、(3)国内紙リサイクルの安定、(4)関係各国との連携を図り、アジア全体の古紙需給安定に向け、古紙回収の促進および品質向上が挙げられるとした。また、中国の未選別古紙の輸入禁止、夾雑物混入規制強化についても、新たな課題として挙げた。
- ・ 11 月 3 日(金)中国造紙協会を訪問し、理事長 趙偉氏、秘書長 錢毅氏等と、中国の未選別古紙の輸入禁止、夾雑物混入規制強化に関し、意見交換・情報交換を行った。
- ・ 11 月 3 日(金)三联紙(板紙メーカー:河北省保定市竞秀区西三杯 2353 号)及び長山紙制品有限公司(家庭紙メーカー:河北省保定市滿城区大冊營造紙行業区)を訪問し、中国政府が進めている環境対策への中小企業の対応動向について意見交換、工場見学を行った。

### ② 調査ミッションの派遣

中国の低品質古紙の輸入禁止、輸入古紙の品質基準強化は古紙の供給地域である欧米と日本の紙リサイクルに与える影響は必至であり、最大の供給国である米国の動向を把握するため訪問調査を実施した。

メンバー： 公益財団法人古紙再生促進センター 業務部長 中田 広一  
公益財団法人古紙再生促進センター 国際担当部長 金谷 信章  
日本製紙連合会 原材料部 調査役 相馬 和仁氏  
株式会社二見 代表取締役会長 須長 利行氏

訪問先： 12 月 11 日 FIBRE BOX ASSOCIATION (米国段ボール協会)  
12 月 12 日 American Forest & Paper Association (米国森林製紙協会)  
Institute of Scrap Recycling Industries, Inc./ISRI  
(米国再生資源協会)  
12 月 13 日 JSR Resources, Inc.

訪問先： 12月14日 Safeshred Co., Inc.  
Metis International, Inc. (An affiliated of Long Chen Paper Co., Ltd.)  
Potential Industries Inc

### (3) 統計調査

#### ① 古紙統計年報

古紙の入荷量・消費量データを基に古紙統計年報をとりまとめ、関係各方面に提供した。

#### ② 国内統計・資料作成

経済産業省紙パルプ統計(生産・出荷・在庫統計、原材料統計)、財務省貿易統計(古紙、紙類、パルプ)等のデータについて収集・整理・分析・加工するとともに、製紙メーカーを対象に紙・板紙の生産量、紙・板紙生産のために要した繊維原料(古紙、パルプ等)などについて調査・集計し、次の統計をまとめ、ホームページ等により広く一般に提供した。

- ア 年間古紙需給統計
- イ 古紙需給推移(品種別)
- ウ 紙・板紙向別古紙品種別消費量推移
- エ 古紙回収率推移
- オ 古紙利用率推移
- カ 古紙品種別輸出先実績
- キ 古紙品種別輸入先実績
- ク 中国の古紙輸入量(地域別・品種別)
- ケ 古紙消費原単位

#### ③ 海外統計

中国造紙協会、韓国製紙連合会、台湾造紙協会、欧州製紙連合会、米国森林製紙協会、RISIの古紙関連統計を収集・整理・分析・加工し、関係各方面に提供するとともに会報に掲載した。

また、海外統計の充実を図り情報発信力を強化するために、新たに米国森林製紙協会の米国古紙統計(月報)を入手することとした。

## 4. 紙の資源リサイクル安定化対策事業

### (1) 古紙余剰対策事業

平成29年度は古紙余剰等の緊急事態に至らなかったため、本事業は実施していない。

### (2) 紙の資源リサイクル安定化施策事業

#### ① 海外紙リサイクルシステム等の調査研究

e コマースの進展等による昨今の世界的な古紙の需給構造の変化の中、わが国の持続的紙リサイクルシステムの構築・維持を図るために、古紙の世界的な供給地域である欧米の今後の需給構造と新たに古紙需要が増加している東南アジア諸国の古紙回収量と回収率の増大に向けて調査活動を実施することとし、本年度は世界最大の古紙供給国である米国の紙リサイクル動向や古紙回収システム、品質状況について主に東海岸を調査した。

- メンバー：王子エコマテリアル株式会社 代表取締役社長 田口 満氏(チームリーダー)  
経済産業省 製造産業局 素材産業課 係長(古紙) 平賀 貴也氏  
日本製紙連合会 原材料部 部長代理 前田 直史氏  
栗原紙材株式会社 常務取締役 栗原 護氏  
王子エコマテリアル株式会社 古紙調達部 主任 高尾 牧子氏  
有限会社グローバルプランニング 取締役 小笠原 秀信氏  
公益財団法人古紙再生促進センター 業務課 主査 吉田 和正(事務局)
- 訪問先：9月5日 Prince George's County Recycling  
Washington, D.C. Department of Public Work  
(ワシントン特別区 公共事業部)
- 9月6日 American Forest & Paper Association (米国森林製紙協会)
- 9月7日 Metrolina Recycling Center  
Domtar  
ENVISION  
Compost Central and West Mecklenburg Recycling Center  
City of Charlotte, Solid Waste Services  
(シャーロット市 固体廃棄物部)
- 9月8日 International Paper Company Recovered Paper Recycling Facility
- 9月11日 Institute of Scrap Recycling Industries, Inc./ISRI  
(米国再生資源協会)

### ②製紙原料以外の古紙用途に関する調査

低質古紙の製紙原料以外への利用実態を調査し、報告書に取りまとめた。

### ③日本のリサイクルシステムへの影響把握と対策に関する調査

平成29年は従来に増して新聞古紙の不足が予測されたため、需給両業界と連携し不足対策として輸入新聞古紙(ONP)と国内新聞古紙のブレンド(20:80)品の利用を検討した。

輸入新聞古紙(ONP)は米国品(#8相当品と#9相当品の2品種)、英国品(#8相当)、オーストラリア品(#8相当)を輸入し、選別の可否及びコストを調査した。

ブレンド品の最終的な可否判断については、平成30年度に製紙メーカーのテスト結果に基づき行うこととした。

## 5. その他の事業

各地区委員会において、古紙に関する情報交換、研修会等の活動を実施した。

以上

平成 29 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 30 年 6 月

公益財団法人古紙再生促進センター